

## **2020年度 事業計画**

2020年4月1日～2021年3月31日

## <2020年度 事業計画>

### 1. はじめに

2020年度、JAAAは一昨年に掲げた「ビジョン」の3年目を迎えます。

また今年度は、JAAAが設立されて70周年を迎える年でもあります。これを機に、30年後の100周年に向かって新たな一歩を踏み出し、これからの広告業界、これからのJAAAの進むべき未来に向かって、新たな気持ちで1年をスタートさせていきます。

70周年は協会にとって記念すべき年ではありますが、JAAAとしては、70年を振り返って過去を懐かしむのではなく、「来たる100周年に向けて、この先30年を新たにスタートさせる年」という考え方で進めていきます。

これからの30年間に思いをはせた時、大事なことは、広告業界がこれからも輝き続け、若い人達が夢を持って生き生きと活躍できる業界であることです。当協会では、ビジョンに「人材確保・育成」を掲げて活動を行っていますが、今年度はさらに、若い人達を巻き込んだ新たな施策に着手します。今20代30代の若い人達が、30年後の未来に思いを巡らす場づくりなど、彼らの思いを受け止め、共有する枠組みを作っていきたいと考えます。

### 2. 新たなスタートに向けて

次の30年に向けた新たなスタートイヤーとして、これまでとこれからをつなぐ、具体的なプランをご説明します。

まず、未来に向けた新しい施策として、これまでの資産を次世代に活かすために、セミナー事業を根本的に見直し、蓄積された知恵とナレッジをコンテンツとした新たなセミナーを設計します。電通銀座ビル8Fの会議室を常設のセミナールームとし、JAAAを「行けばいつも新しい情報が手に入る場」とすることで、会員社の皆さまがいつも集える場所となるよう再設計します。

次に、未来を担う若者にプロジェクトを託し、これからの広告業界、これからのJAAAの姿を考えてもらう試みとして、「若手が参加し一緒に考える場」を作ります。彼らの考える未来に対して今やるべきことを創造し、新たなアクションにつなげるため、まずは一歩を踏み出します。

さらに、これまでJAAA事務局に足りなかった「会員社との接点」を増やしていきます。4月よりSNSを開始し、HPも見やすく改定しました。こうした取り組みを通して、会員社の若手とのつながりを醸成します。また、会員各社の皆様にお話を伺う機会をいただき、課題の共有とアクションプランの発見ができるよう努めます。

これらのプランを具現化することが、これからの30年に向けてのスタートだと考えております。

### 3. ビジョン3年目の活動計画

そして、今年2020年度は、ビジョンの3年目の年でもあります。

ビジョンに掲げた「JAAAは激変する広告業界を支え、業界をリードするエンジンとなる」という目標を継続し、達成させる1年となります。7つのアクションプランも継続します。

そのなかでもビジョン3年目の今年は、「協働スキームの強化」を第一に上げたいと思います。業界内の「際」や広告という「際」がなくなりつつある中、広告会社が成長を続けるための協働スキームが重要になってきており、JAAAがその役割を果たすべきと思うからです。

次に、「デジタル対応の強化」です。デジタルは広告業界だけの問題ではないのですが、広告主と生活者とメディアをつなぐ広告会社の役割として、デジタル広告の品質課題を解決し、安全安心なデジタル広告市場を作り上げるための活動を強化していきます。

そして「人材育成」です。業界若手の確保と育成、そして学生の業界への取り込みと成長。いずれも重要課題です。昨年度よりいくつかの新しい取り組みを開始しておりますが、今後も、業界の知恵とアイデアを結集して、若手の育成のためにJAAAが動くべき領域は多々あると感じます。各委員会と協力し、一体となって、若手が活躍できる業界を築き上げていきたいと考えます。

以下、7つのアクションプランに沿ってご説明します。

1. 「協働スキームの強化」として、委員長会議を継続し、JAAA内の委員会の垣根を越えて業界の課題解決の施策を具体的に打ち立て、動かしていく。また業界団体とのスキームをより強化し、業界全体で解決すべきテーマへの迅速な対応と具体的な解決策策定を続ける。
2. 「人材育成のための新たなチャレンジ」では、人材育成委員会を中心に、クリエイティブ委員会や懸賞論文委員会、メディア系各委員会や営業委員会などをつなげ、セミナーにとどまらない新たな情報発信を含め、業界の若手や業界を目指す学生へのアプローチを継続していく。
3. 「デジタルへの対応強化」では、4月を目標にデジタル広告の品質課題解決のための機関としてJICDAQ（仮称）の合同準備委員会を立ち上げる。また同時に、会員社へのデジタルナレッジや現状課題の共有が必要であり、セミナーなどを強化してこの課題を解決していく。
4. 「働き方改革」は具体的に動き始めており、今後は各社でのアクションプランが主体となってくる。JAAAとしては、各社をつないで情報の横展開を担い、会員社の活動を支援する。
5. 「メディアビジネスの活性化」では、各委員会で計画するセミナーを継続しつつ、メディア環境の変化に対応して業界横串の課題を解決、メディア活性化というテーマを継続して推進する。
6. 「クリエイティブの強化」は業界の最大テーマ。新たな視点の発掘を含め、会員社が必要とするナレッジを適時に提供し、クリエイティブの魅力を世の中に広め、底上げを図る。
7. 「PR戦略の再構築」は次世代に向けた情報発信のあり方を検討し、若手を中心としたナレッジ配信や交流の場の提供など、JAAAとして必要な具体的施策を提供していく。

以上7つのアクションプランをさらに磨き、ゴールを共有したうえで、今後それぞれの委員会やクロススキームを通して具体的なアクションにつなげていきます。

#### 4. 終わりに

J A A Aの100周年に向けた航海が、いま、始まります。

会員社の皆様、エネルギー溢れる若手の皆様、そして共に業界を支える関係各位の皆様と共に、  
広告業界がこれからも輝き続けていけるよう、全力を尽くしていきたいと考えております。

今後ともJ A A Aにお力添えいただきますようお願いいたします。

## <各委員会 事業計画>

### 事業委員会

#### 【1】ビジネス統括委員会（担当理事：神田橋 治 委員長：大久保裕一）

今期も、統括する各委員会の委員長が協会横串の「プロジェクト」や「委員会」などに参加し、業界全体の課題を横断してサポートする体制で取り組む。

#### 【1-1】経理委員会（委員長：三宅 大）

会員社に必要な経理情報を共有するとともに、業界全体の課題として検討を進める。

#### 【1-2】情報システム委員会（委員長：川上 勲）

定例の「情報システムアンケート」を通じて、業界のIT課題、インフラ課題を共有し、業界全体の課題解決のための施策を検討、導入する。「オフィス365」「情報セキュリティ」「事業継続計画」ワーキンググループは継続し、現状把握と検討を進める。

#### 【1-3】法務委員会（委員長：長谷川雅典）

関連団体と共同で広告法務セミナーを実施する。また広告業界に関わる法律への対応やパブリックコメントの作成など、業界全体の課題に対応していく。

#### 【1-4】制作取引委員会（委員長：沼澤 忍）

広告業界の制作領域の課題であるCMオンラインへの対応や字幕付きCM普及など、具体的な活動を進めることで業界全体のために活動を推進する。

#### 【1-5】営業委員会（委員長：橋爪恒二郎）

業界の課題は「営業」全体に関わることが大きい。委員長を中心に他の委員会に協力すると同時に、新たな課題を発見、解決策を提示することで現場の支援を行う。

#### 【2】メディア委員会（担当理事：大森壽郎 委員長：石川 豊）

テレビCMオンライン送稿が2020年に地上波系列局全局で開通。流通量を一段引き上げるための1年であり、さらなる推進を進めていく。

またネット広告の品質課題に関して、JAAやJIAAと協働で認証機関を立ち上げるための準備委員会を設立する。

#### <CM素材オンライン運用推進プロジェクト>

会員社・協力機関・関係団体への説明、周知活動などを通じて、テレビCM素材オンライン運用の普及に努める。

#### 【2-1】テレビ委員会（委員長：五十嵐真人）

- ①「字幕付きCM普及推進協議会」の推進に向けて、効率的な字幕付与のシステム構築や広告主の運用効率を高めるための施策を検討・推進する。

- ②「有事に関する懇談会」では、J A A・在京5社と「大震災」に加え「大雨、台風、水害などにおける有事対応」の検討を進める。
- ③放送確認書誤記載調査を実施。民放局に対して放送確認書発行ルールの注意喚起を進める。
- ④テレビビジネスの活性化に向けて、第4回となる「テレビフォーラム」開催についてワーキンググループなどで企画検討を行う。

**【2-2】ラジオ委員会（委員長：大木秀幸）**

- ①2020年4月に開始するCM進行表のオンライン化を推進し定着させる。
- ②ラジオ媒体活性化やターゲティング配信可能なオーディオアドの動きなどを、会員社と共有するセミナー実施を検討する。

**【2-3】新聞委員会（委員長：榎本規成）**

10月の新聞大会にあわせて新聞活性化のための企画検討。新聞の力、新聞社の力を最大化するための施策を検討する。また恒例となったJ A Aとの共催セミナー実施も推進する。

**【2-4】雑誌委員会（委員長：東 正之）**

雑誌広告活性化のために、雑誌とデジタルの融合など最新情報の収集や配信、セミナーなどの企画を推進する。

**【2-5】交通広告委員会（委員長：菊田真弘）**

O O Hの可能性を具体的に感じることができるセミナーなど、交通広告を含むO O H広告の活性化に向けた検討を進める。

**【2-6】インターネット広告委員会（委員長：石川直樹）**

J A A、J I A A、J A A Aの業界3団体でネット広告品質課題に対する第三者機関の合同準備委員会を設立。またアドテック東京などでJ A A A活動をアピールする場を企画するほか、会員社のネット広告ナレッジ向上のためのセミナーなどを検討する。

**【2-7】メディア調査研究委員会（委員長：牧野 聡）**

新視聴率と今後の広告統計などについて、業界情報の収集と対策を検討する。

**【2-8】メディア業務改善委員会（委員長：大富康正）**

テレビCM素材割付の指示書標準化に向けて検討を継続するなど、業界インフラの課題解決に向けた提案、解決策の検討を進める。

**【3】クリエイティブ委員会（担当理事：中田安則 委員長：能登健裕）**

クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の選考と推進を通じて、クリエイティブの力を世の中にアピールすると同時に、会員社へのセミナーなどで業界若手の育成を推進する。

### 【3-1】クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞実行委員会

クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の運営に加え、規約・応募要項の検討、募集方法や選考方法等の検討を行い、賞の価値を高める。

### 【3-2】著作権委員会（委員長：小竹伸幸）

制作業務における著作権等の定義・法的判断等の議論と課題解決を行う。

### 【4】人材育成委員会（担当理事：桑原常泰 委員長：松浦啓子）

- ①業界全体の人材育成というテーマに関して、未来に向けた新たなスキームの検討を進める。
- ②「新入社員教育セミナー・フォローアップセミナー」で、若手に向けた広告基礎講義とワークショップの研修を行い、広告会社若手の育成をサポートする。
- ③広告会社の魅力を大学生に伝える試みとして、マスメディアンとの共催でキャリアプランをテーマとした大学生対象セミナーを継続実施する。

### 【4-1】広告ビジネス入門発行委員会（委員長：中馬 淳）

2020年3月に新版を発行、次回の発行に向けて準備を行う。

### 【4-2】懸賞論文委員会（委員長：宇賀神貴宏）

第50回を迎える懸賞論文の募集・審査を行い、結果を業界内外にアピールする。また論文の応募促進や今後の方針など、今後に向けた検討を行う。

### 【4-3】海外交流委員会（委員長：高橋 修）

会員社のグローバルナレッジ向上に向けた2つの海外研修（①第47回海外広告研修団＝NYを中心にアドウィーク視察と企業訪問、②スパイクスアジア研修＝クリエイティブナレッジを必要とする若手を中心に派遣）の企画検討を進める。

また海外事例をもとにセミナーを行うなど、業界若手育成のための施策を検討する。

### 【4-4】イノベーション委員会（委員長：桑原宗明）

「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」の募集、審査、選考とそのPRを行う。

### 【5】PR委員会（担当理事：内藤好徳 委員長：斎藤 浩）

業界活動を内外にアピールする施策を今後も継続して検討。SNSなど新たな施策を進めることで、より多くの会員社に情報を届けるための企画検討を行う。

また「広告の広告」の掲載についても、その意義や役割について議論を行う。

### 【5-1】会報編集委員会（委員長：安齊 昇）

特集記事をHPに掲載することを始めとして、情報をより多くの会員社現場に届けるための施策を検討、実施する。

**【5-2】 広告の機能と役割研究委員会（委員長：松本 順）**

広告の「機能と役割」を調査分析し、トークセッションなどの発表会を実施、会員社にナレッジ発信を行う。

**【5-3】 CSR委員会（委員長：木下浩二）**

企業でも関心が高まっているSDGs（持続可能な開発目標）をテーマにポスターを募集し配布するなど、広告会社にとってのソーシャルテーマに関する情報発信・啓発を行う。

**特別委員会**

**【6-1】 新しい働き方委員会（委員長：今泉智幸）**

これまでの施策を振り返り、円卓会議による制作領域の働き方改善の実態把握と今後の対策を検討する。またヒアリングやレポートで会員社の進んだ取組みを紹介するなど、広告業界全体の働き方を共有、サポートしていく。

**【6-2】 広告問題研究委員会（委員長：北原利行）**

日本の広告費（電通発表）を会員社に共有するなど、会員社にとって必要な情報発信のための施策を検討する。

**【7】 運営委員会**

理事会提出議案、及び協会運営に関する事項について検討を行う。直轄の各委員会では以下の活動を行う。

**【7-1】 入会資格審査委員会**

入会申請のあった法人に対しその資格審査を行い、また、入会促進活動の強化を進める。

**【7-2】 財務委員会**

作成された予算進捗についての審議と、次期予算案についての検討を行い、理事会に諮る。

**【7-3】 吉田秀雄記念賞選考委員会**

吉田秀雄記念賞を選考し、受賞者を記念式典にて贈賞する。

**【7-4】 役員選挙管理委員会**

役員改選期において役員候補者（任期2年）選挙の対応を行う。